

V 災害時要援護者対策

V－1

災害時における要援護者支援のあり方

東京大学大学院情報学環教授

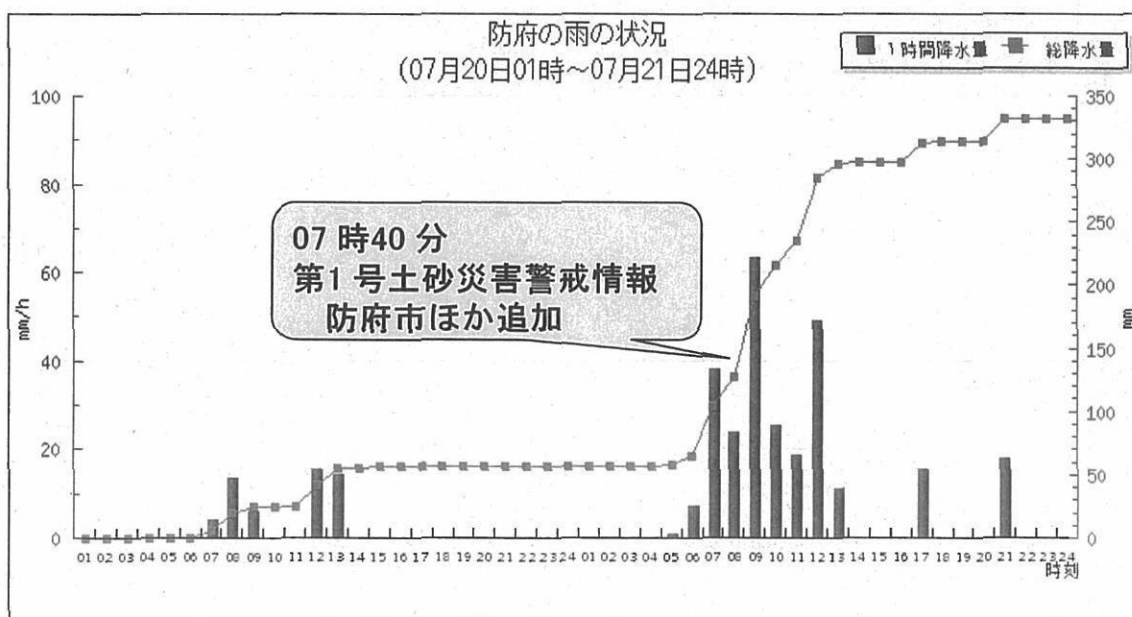
田中 淳 氏

災害時における要援護者支援のあり方

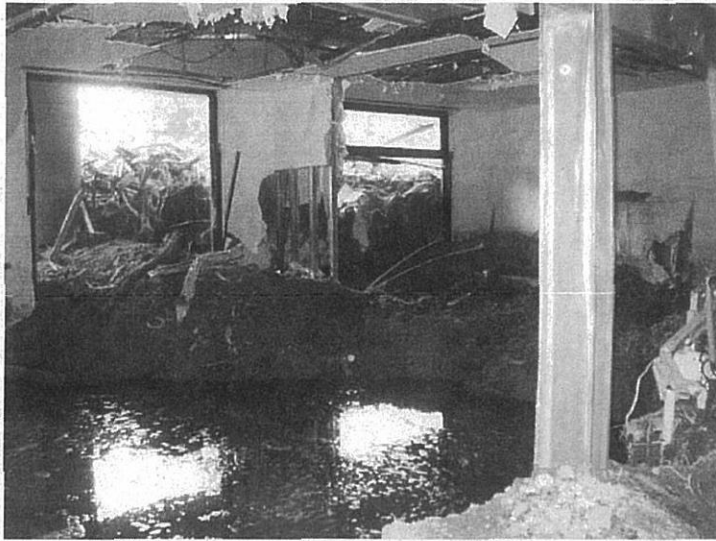
- (1)災害時要援護者問題の浮上
- (2)災害時要援護者対策のステージ
- (3)災害時要援護者対策と残された論点

田中 淳 (Atsushi Tanaka)

7月21日の降雨状況



降水量時系列図(アメダス:7月19日～26日)
下関地方気象台HP



消防科学総合センター

大字真尾の特別養護老人ホーム「ライフケア高砂」で、土石流により入居者7名が死亡

* 95歳男性、92歳女性、86歳女性、85歳女性、82歳男性、76歳女性、63歳男性

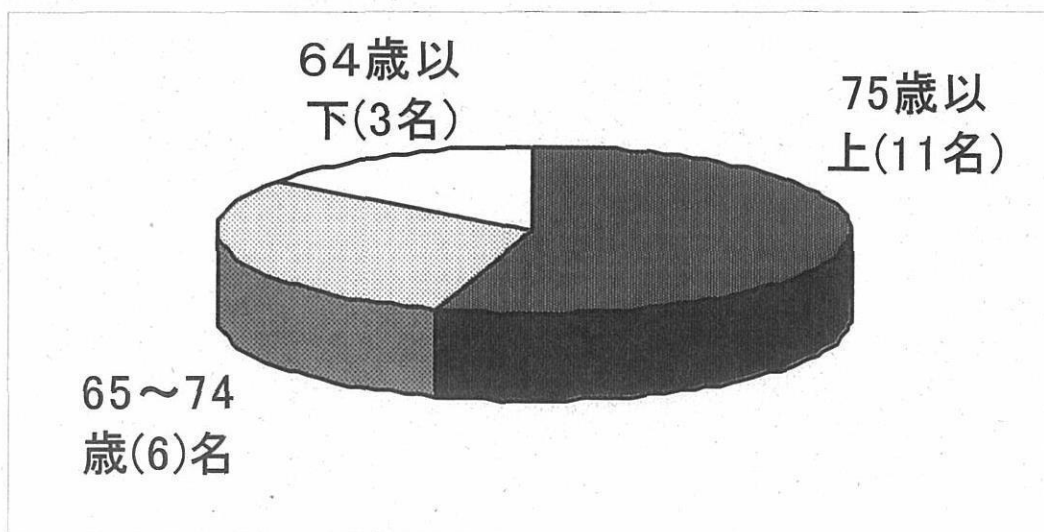
我々は何が出来たか

- 砂防施設で守れれば。
- 土砂災害警戒情報を伝えていれば。
- 安全で、避難しやすい施設があれば。
- 2階に避難させられれば。
- 土石流の前兆を把握できていれば。
- 危険地域に立地させなければ。

死者は高齢者に集中

88歳(男):平屋	81歳(女):避難で外へ
86歳(女):妻	79歳(女):平屋
86歳(男)	67歳(女):犬を助けに
83歳(女)	60歳(女)
81歳(男)	55歳(男):肢体不自由
81歳(女):単身	11歳(男):平屋

新潟・福島豪雨と福井豪雨



災害弱者問題の浮上

- a.宮城県沖地震で、小学生がブロックの下敷き(1978)
- b.日本海中部地震で、寝たきりの高齢者等罹災(1983)
- c.土砂災害で、老人施設入所者26名死亡(1985)
- d.北海道南西沖地震で、聴覚障害者逃げ遅れる(1993)
- e.阪神で、死亡率は数倍、厳しい避難生活(1995)
- f.不知火高潮災害で、死者12人中9人高齢者
- g.郡山水害で、身体障害者施設入所者5名死亡(1998)
- h.新潟・福島豪雨等で、死者20名中17人高齢者(2004)

高い死亡率

- a.宮城県沖地震：小学生がブロックの下敷き
- b.阪神・淡路大震災：死亡率は数倍、厳しい避難生活
- c.郡山水害：身体障害者救護施設被災
- d.新潟・福井豪雨：死者20名中17人高齢者
- e.新潟県中越地震：関連死の73%が高齢者